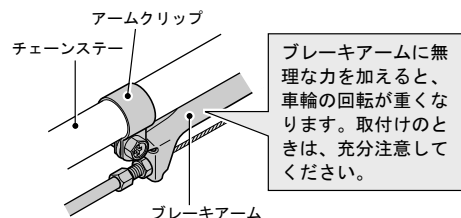


## 安全の為に必ずお守りください

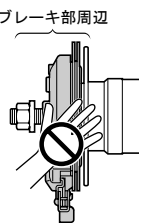
## ▲警告

- 自転車は、製品によって取扱いが多少異なることがあります。したがって、ブレーキレバーへの入力や自転車の操作特性などを含め、個々の自転車のブレーキシステムの適切な操作を充分理解し慣れるようにしてください。ブレーキ系統の操作が適切でないと、自転車のコントロールを失い事故のもとになり、また大怪我を招くとも限りません。適切な操作については、自転車専門店にご相談いただき、また自転車の取扱い説明書もよくお読みください。ご自分の自転車にお乗りになって、ブレーキ操作などを練習していただくことも大切です。
- ブレーキアームをフレームに固定するときは、クリップボルトとクリップナットを指定の締付トルクでしっかりと締付けてください。クリップナットは、ナイロンインサートロックナット（緩み止めナット）を使用してください。クリップボルト、クリップナット及びアームクリップはシマノ製をお勧めします。ブレーキアームのクリップナットが外れたり、クリップボルトまたはアームクリップが破損すると、ブレーキアームが回転し突然ハンドルがとられたり、車輪がロックして転倒し大怪我をすることがあります。
- 製品を取付ける時は、必ず取扱い説明書等に表示している指示を守ってください。またその際、シマノ純正部品を使用をお勧めします。ボルトまたはナット等が緩んだり、製品が破損すると、突然に転倒して怪我をすることがあります。
- 取扱い説明書はよくお読みになった後、大切に保管してください。

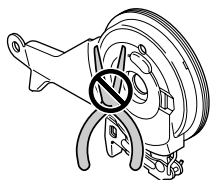
4. ブレーキアームが、アームクリップでチェーンステアにしっかりと固定されていることを確認してください。取付け不良は、ブレーキ性能が悪くなります。



5. ブレーキをひんばんに使用した場合、ブレーキ部周辺が高温になる場合があります。走行後しばらく（30分位）は、ブレーキ部周辺に手をふれないよう注意してください。



6. ブレーキケーブルがさびると、ブレーキの効きが悪くなります。効きが悪くなった時は、新しいシマノ純正ブレーキケーブルと交換し、再度ブレーキの効きを確認してください。
7. ブレーキユニットは分解できません。分解するとトラブルや故障の原因になります。



## 使用上の注意

- インターMブレーキは、従来のバンドブレーキと異なり、ドラム内部にグリスが封入されているため、タイヤ回転がわずかに重くなっています。（特に冬期）
- 取扱い方法または調整方法について疑問のある方は、購入された販売店にご相談ください。

SI-IM31E-001  
BR-IM31-R  
BR-IM35-RF インターMブレーキ

## ご使用方法

SHIMANO  
NEXUS

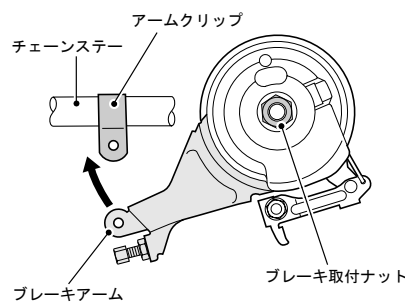
INTER M

## インターM ブレーキの取付け

1. ハブ本体をフレームにセットした後、インターMブレーキのブレーキアームを、アームクリップでチェーンステアに取付け、クリップボルトとクリップナットを軽く締めて仮止めします。その後、ブレーキ取付ナットを締付けます。

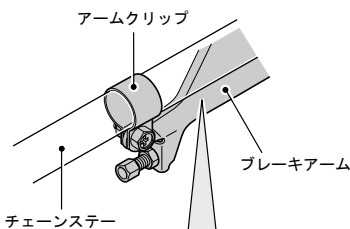
## ご注意：

図のようにブレーキアームの位置がずれて、チェーンステアに仮止めできないときは、ブレーキ取付ナットを一旦ゆるめてからブレーキアームを回し、チェーンステアに仮止めします。その後、ブレーキ取付ナットを締付けます。



締付トルク：  
20 ~ 25 N・m {200 ~ 250 kgf・cm}

2. ハブ本体をフレームにハブナットで固定した後、インターMブレーキのブレーキアームを、チェーンステアにアームクリップで確実に固定します。



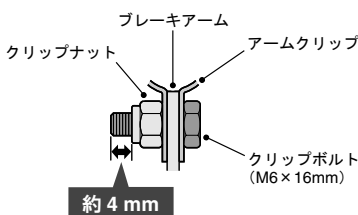
ブレーキアームに無理な力を加えると、車輪の回転が重くなります。取付けのときは、充分注意してください。

## ご注意：

- アームクリップを取付けるときは、クリップナットを10mmスパナで固定し、クリップボルトを確実に締付けてください。

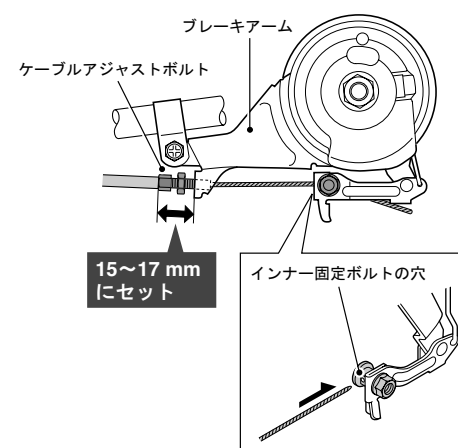
締付トルク：  
2 ~ 3 N・m {20 ~ 30 kgf・cm}

- アームクリップを取付けた後、クリップボルトがクリップナットの端面から約4mm出ていることを確認してください。

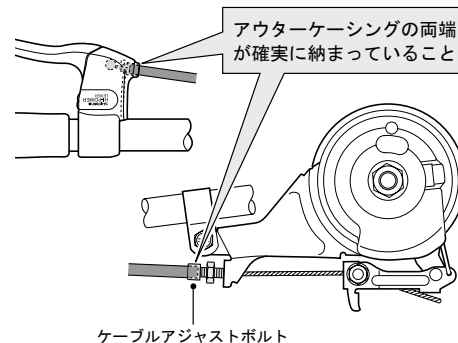


## ブレーキケーブルの取付け

1. ケーブルアジャストボルトをブレーキアームの端面から15~17mmの位置にセットし、インナーケーブルをケーブルアジャストボルトの穴から、インナー固定ボルトの穴に通します。

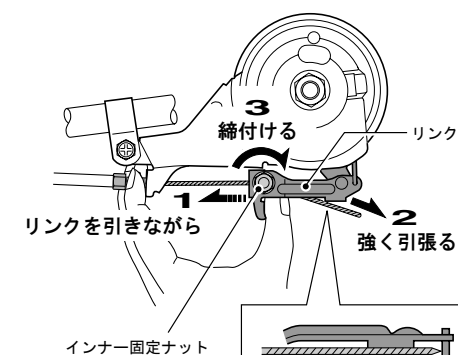


2. アウターケーシングの両端が、ブレーキレバー側とブレーキアーム側のケーブルアジャストボルトに確実に納まっていることを確認します。



3. リンクを当りまで引き、インナーケーブルをいっぱい引張った状態で、インナー固定ナットを締付けます。

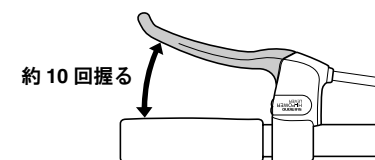
締付トルク：  
6 ~ 8 N・m {60 ~ 80 kgf・cm}



ご注意：  
インナーケーブルは、リンクの下を通るようにセットしてください。

## ブレーキケーブルの調整方法

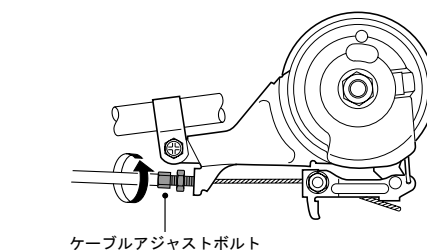
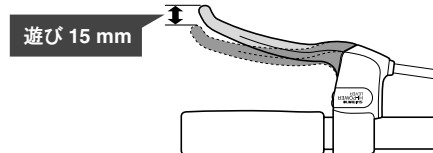
1. ケーブルが張りぎみで、車輪の回転が重くなっていることを確認したあと、ブレーキレバーをグリップに付くまで、約10回ほど握り、ケーブルをなじませます。



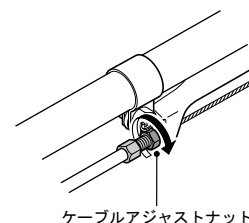
## ご注意：

ケーブルがなじんでいないと、短時間で再度ブレーキの調整が必要になります。

2. ケーブルアジャストボルトを回して、ブレーキレバーの遊びが15mmになるように調整します。（ブレーキレバーの遊びとは、レバーを操作していない状態から、レバーを少し引いていくと、急に重くなる所までの引き代のことです。）



3. ブレーキレバーを握り、ブレーキの効きを確認したあと、ケーブルアジャストナットでケーブルアジャストボルトを固定します。



締付トルク：  
1 ~ 2 N・m {10 ~ 20 kgf・cm}

この取扱い説明書は、ご購入された自転車に装着されているシマノ製自転車部品の取扱い方法を説明しています。ご購入された自転車及びシマノ製自転車部品以外に関するご質問は、ご購入先または自転車製造元へのお問い合わせをおすすめいたします。

※取扱い説明書は下記にてご覧いただけます。

<http://techdocs.shimano.com>

製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。



お客様相談窓口  
☎ 0570-031961  
Fax. 072-243-7847

株式会社シマノ  
堺市堺区老松町3丁77番地 〒590-8577